

平成30年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う 「1」 ■ どちらかといえば、そう思う 「2」 ■ どちらかといえば、そう思わない 「3」 ■ そう思わない 「4」 ■ 無回答 「5」

### ①豊かな心をはぐむ教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていますか。</p>	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
---	---	--

【学校から】○「一人一人の児童を大切にした指導」に関して、児童の「1」の割合が上がっている。昨年度73ポイントあったものが、79ポイントになった。ただ、児童・保護者においても「3」「4」の意見があることを重く受け止めたい。○友達への思いやりは、ほとんど「1」「2」が占めており、保護者の「1」と「2」の合計が増えてきた。今後も個と個をつなぐ本校の取組を推進していきたい。○平成27年度2学期から「家庭道徳の日」を設け、保護者への協力をお願いし、学校で学んだ道徳の学習について家庭でも話題にして児童へ一言書いてもらっている。児童の行動に成果が表れるよう、日常の授業や指導を含め今後も取り組んでいく。

### ②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h4>6 ICT活用</h4> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
---	--	---

【学校から】○児童の意欲が昨年度に比べ向上している。「1」が60%であったものが65%になった。「2」を選んでいる児童が減っているため、授業の導入などで意欲の喚起を工夫していく。○わかる授業作りの工夫に関して、児童・保護者の「3」「4」の合計が5～6%ある。授業改善への取組を今後も継続していく。○ICTの活用は、「1」「2」の合計で見れば、保護者・児童・職員との割合はほぼ同じである。今後は電子黒板やタブレットも導入され、活用方法について研修を行っていく必要がある。

### ③健やかな体を育む教育の推進

<h4>7 健康づくり</h4> <p>子どもは、好き嫌いをなく食事し適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>	<p>【学校から】○「1」の割合が、昨年度に比べ、児童の割合が26ポイント上がった。「1」「2」全体で8ポイントの上昇である。朝・昼の時間帯の委員会や学級での体を動かす取り組みは行っている。</p>
---	---

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実	②特別支援教育の推進
<h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。</p>	<h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>
<h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>	

【学校から】○児童理解は、「1」の割合が昨年度に比べ児童では9ポイント上がっている。しかし、児童の「3」「4」の割合が5%あることは、重く受け止めている。○それと同様に、いじめや問題への対応も児童の「1」の評価は高くなっているが、「3」が2%あることを今後も継続して取り組んでいく。○学校の支援体制への評価は、昨年度保護者の「1」「2」の割合と同じである。ただし、「3」「4」の割合が皆無ではないので、支援を必要としている児童への対応と、周りへの対応も熟慮し行っていく必要がある。

①子どもたちの身近な安全対策の充実	②最適な学習環境の整備
<h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>

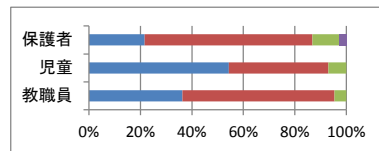
【学校から】○児童の「1」「2」の合計は、ほぼ100%であるが、日ごろの安全管理と指導を怠りなく進めるとともに、各通信等に児童の様子を伝えながら、保護者との連携を密にしていきたい。

【学校から】○本校改築から22年。今後も日常の安全点検をきちんと行うとともに、日ごろ学校生活を営む児童や職員からの情報に速やかに対応していく。

### ③家庭・地域社会との連携強化

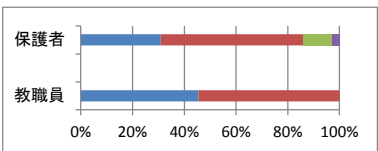
#### 13 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



#### 14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

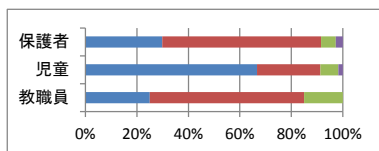


【学校から】○「安心・安全・あこがれ」などの目標を日ごろの校長講話などを通して浸透していくとともに、今後も各通信等を生かして保護者にも広く伝えていきたい。○保護者の「3」「4」の割合が14%あることを重く受け止め、児童を育てるために家庭や地域と情報交換を進め、連携を図っていく。

### ⑧本校の教育

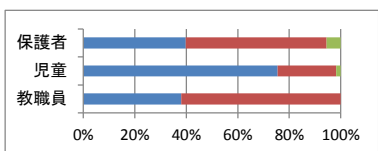
#### 15 1まじめに努力する児童作り

子どもは、目的に向かって途中の努力を大切にしていると思いますか。



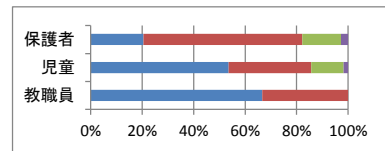
#### 16 2 友達の頑張りやよさを認め合える集団作り

子どもは、友達の頑張りやよさを素直に認めることができていると思いますか。



#### 17 3 体力の向上

先生方は、子どもたちの体力向上の手立てを工夫し取り組んでいると思いますか。



【学校から】○途中の努力を大切に思う児童・保護者はともに90%を超えている。結果に一喜一憂するだけでなく、努力が児童の成長の礎になることを、日頃から繰り返し指導していきたい。○友達の頑張りやよさを素直に認めることができる児童は、98%である。互いに切磋琢磨して伸びていくように、学習の場の設定など工夫していきたい。○体力向上に関し、本年度は、体育委員会を中心とした朝の「逃走中（鬼ごっこ）」「立ち幅跳び」「ボール投げ」など工夫を凝らしてきた。しかし、児童の14%が「3」「4」をつけている。このような子どもたちが進んで体力向上に取り組めるような工夫を考えていきたい。

### 来年度の具体的な取り組みについて

- 本校の良さである職員相互の「児童理解」の時間は、今後も確保するとともに、「児童一人一人を見ること」・「他の職員との連携を図ること」・「児童について保護者への連携を図ること」を行っていく。
- 健康面については、食事・睡眠・運動と、それぞれに児童の実態を把握し対応したい。そのためにも、各職員の情報と意見の交換を推進し対応していく。
- 安全面についても、児童・保護者・地域との情報の共有をさらに進め、校内外の安全を確保していきたい。
- 全国学力学習状況調査や熊本市学力調査を分析し、PDCAサイクルのもと、きめ細かな指導の工夫改善に反映させ学力向上を図っていく。
- 「安心・安全・あこがれ」は、学校教育の徳・知・体の3つの面がそろってこそかなうものである。上記のことを推進するほか、教育目標方針については、さらに分かりやすく、学級・学校便り、PTA新聞、諸団体会合などあらゆる機会を通して情報発信を行う。
- 「英語教育」「外国語活動」及び「特別の教科『道徳』」が先行実施され、平成32年度に新学習指導要領の完全実施となるが、他の教科を含め、移行期間の教科等にも十分注意し、計画的に授業を行っていく。
- 土曜日授業が年間4回実施した。学校行事への活用など、PTAとの連携行事の多い本校では、情報の交換を密に行い、スムーズな実施ができるようにしていく。

### 学校関係者評価

- ICTを使った授業で、教師が電子黒板に、児童の反応を他の児童へ大きな画面に提示し、画面に必要な事を書き込んで共有しているところを見た。四月からは、タブレットなどを使って課題を配付し、タブレットに書かせ、実態を素早く把握することを聞いた。ICTのよさを生かして、子どもたちへの指導や子どもたち同士の話し合い活動、思考する時間に生かして欲しい。
- 体力向上に向け、委員会活動などを通して取り組んでいる事を知った。給食も良く食べていると聞いた。現在、ゲームなどで近くばかり見る環境に子どもたちがいるので、今後は、視力の向上にも取り組んでほしい。